




本山寺長屋



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほんざんじながや
所在地	美咲町定宗
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	この長屋は、弘化2年(1845)に、津山城主松平齊民[なりたみ]が霊廟の守衛の住まいとして建てたものである。仁王門を入れて直ぐの位置に、高い石垣を築き、その中央に設けた埋門[うずみもん]の上に建てられている。門には引き戸を入れ、内部は石段で通行できる。長屋は、桁行9間、梁間2間、単層入母屋造の棧瓦葺。全体が塗屋造[ぬりやづくり]で、格子窓、与力窓を開く。寺院の長屋としては規模も大きく、構造も優秀で、まるで山城の平櫓のような構えには軍事的な意図も感じられる。
アクセス方法	JR弓削駅から車で約15分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ  障害者用トイレ 
備考	